

●調査レポート

第74回 埼玉県内企業経営動向調査－2011年1～3月期－

調査対象：県内企業572社

調査方法：アンケート方式（2月上旬 郵送回収）

回答企業：301社（回答率52.6%）

業種別内訳：製造業178社 非製造業123社

調査分析方法 BSI方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

<概況>

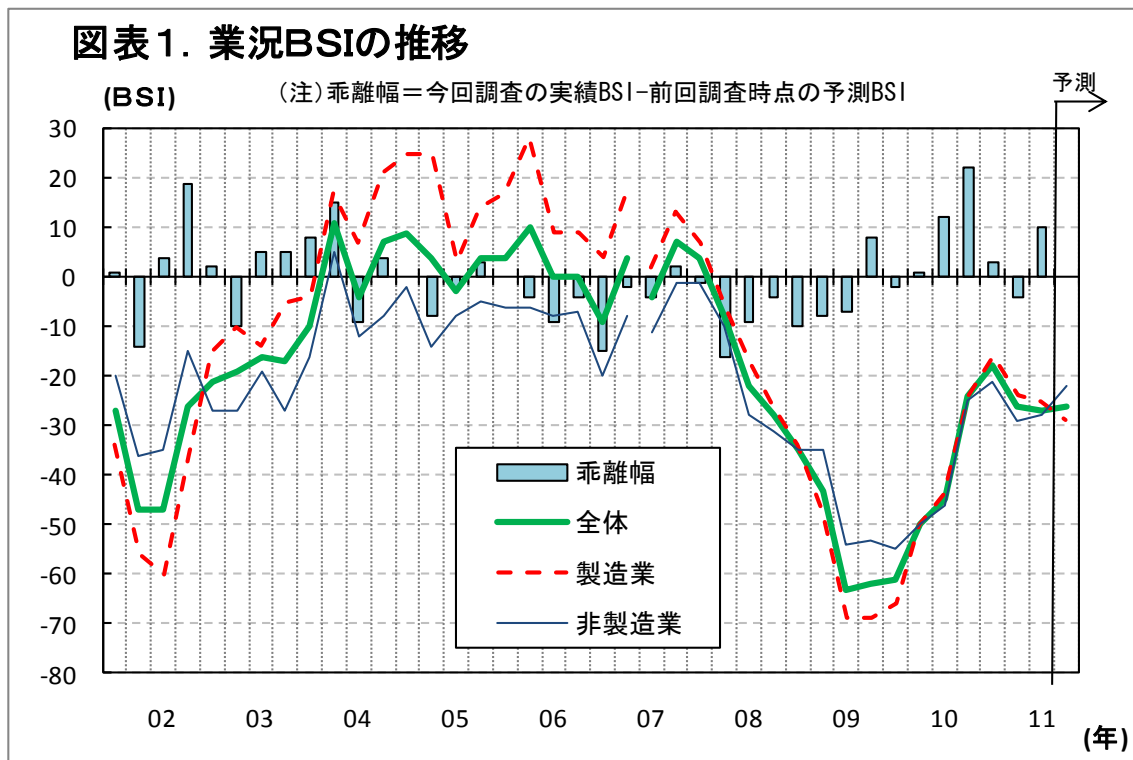
県内企業の業況感は概ね横ばいで推移している。今回調査の業況判断BSIは-27と、前回（10年10～12月期）の悪化予測（-26→-37）に反し、ほぼ横ばいを保つ結果となっている。

今回調査の特徴を規模別にみると、「規模の大きい企業」（従業員100人以上）は前回に比べ後退する一方、マイナス幅が大きく厳しい状況にある「規模の小さい企業」（従業員100人未満）は若干持ち直している。

業種別にみると、製造業は、海外需要が堅調な金属製品などで業況感が持ち直しているものの、原材料価格が上昇している鉄鋼・非鉄金属のほか、分野によって業況感にバラツキのある電子部品・デバイスは総じて弱含んでいる。非製造業は、小売で売上が底入れするなど業況感は幾分持ち直している。

先行き（4～6月期）の業況判断BSIは-26とほぼ横ばいとなり、足踏みする見通しとなっている。業種別にみると、製造業では、生産高は緩やかに持ち直すものの、原油価格急騰など原材料価格の上昇懸念などから業況感が若干後退する一方、非製造業では売上が堅調な住宅建設などで業況持ち直しを見込んでいる。

図表1. 業況BSIの推移



(注)2007年1～3月期調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2006年10～12月期以前と2007年1～3月期以降の数値は連続しない。

1. 業況判断BSI（「良い」－「悪い」） ～足踏み～

今回調査の業況判断BSIは、前回調査比ほぼ横ばいの-27となっており、足踏みしている。

製造業では、金属製品、精密機械などで業況感が改善しているものの、鉄鋼・非鉄金属、電子部品・デバイスなどで業況感が後退している。非製造業では、卸売、小売などで業況感が持ち直しているものの、運輸・倉庫、不動産などで業況感が後退している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2009年			2010年			2011年		2011年 4～6月 (見通し)
	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前回予想	
全体	-61	-50	-45	-24	-18	-26	-27	-37	-26
100人未満	-63	-54	-52	-28	-32	-37	-34	-42	-26
100人以上	-58	-46	-37	-19	-3	-13	-19	-32	-25
製造業	-66	-51	-44	-24	-16	-24	-25	-38	-29
100人未満	-71	-51	-49	-24	-30	-34	-29	-40	-26
100人以上	-60	-50	-38	-23	1	-12	-21	-37	-31
素材型	-63	-39	-35	-21	-28	-21	-23	-40	-28
パルプ・紙・紙加工品	-58	-20	-44	-9	-29	-38	-31	-38	-31
化学・石油製品・ プラスチック・ゴム製品	-42	-19	-40	-27	-23	0	-31	-25	-15
鉄鋼・非鉄金属	-91	-85	-45	-25	-15	-25	-50	-42	-50
金属製品	-44	-17	0	14	-18	-7	15	-43	8
その他素材型	-82	-53	-54	-53	-44	-29	-18	-48	-44
加工組立型	-78	-63	-55	-22	-2	-24	-23	-35	-26
一般機械器具	-71	-62	-72	-53	-21	-31	-17	-50	-33
電気・情報通信機械器具	-63	-50	-60	-23	-8	-33	-41	-33	-38
電子部品・デバイス	-100	-86	-67	-11	10	8	-23	8	0
輸送用機械	-91	-55	-31	8	0	-36	-36	-55	-29
精密機械	-82	-73	-29	-18	14	-25	8	-42	-25
生活関連型	-53	-53	-46	-39	-23	-32	-41	-48	-46
飲・食料品	-43	-25	-33	-23	8	-14	-23	-43	-17
印刷・同関連業	-80	-100	-67	-60	-67	-55	-57	-55	-71
その他製造業	0	-33	-13	-14	0	-14	-14	-14	0
非製造業	-55	-50	-46	-25	-21	-29	-28	-36	-22
100人未満	-53	-58	-57	-33	-34	-41	-41	-46	-27
100人以上	-57	-39	-34	-15	-8	-15	-15	-25	-16
一般建設	-71	-55	-68	-52	-52	-64	-50	-73	-59
住宅建設	0	-25	9	18	9	36	-14	9	7
卸売	-55	-69	-47	-42	-25	-39	-16	-41	-5
小売	-74	-65	-45	-19	0	-44	-28	-33	-22
運輸・倉庫	-57	-38	-53	-13	-25	0	-25	-18	-18
不動産	-44	-33	-38	-20	0	-33	-54	-42	-23
その他非製造業	-53	-41	-45	-17	-27	-17	-11	-22	-17

2010年10～12月期から素材型の「繊維・衣服・その他の繊維」、「木材・木製品・家具」、「窯業・土石」を統合し、「その他素材型」とした。また、「建設」の業種名については、「住宅建設」と明確に区別するため、「一般建設」に変更した。

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業を中心に低下～

製造業では、受注量の減少を受けて、素材型が前回調査 15→今回調査 -24(以下同じ)、生活関連型が -4→ -52 とともに低下している。非製造業では、受注量、受注単価がともに減少している一般建設が -13→ -41、賃料が弱含んでいる不動産が -8→ -46 と低下している。

図表3 売上(生産)高 BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	14	4	-15	-2
製造業	20	6	-20	3
非製造業	8	2	-9	-8
規模の小さい企業	5	-2	-21	-5
規模の大きい企業	24	11	-9	2

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～業種、規模の如何を問わず低下～

売上（生産）高が減少したことから、製造業では素材型が 3→ -37、生活関連型が 4→ -41、非製造業では一般建設、不動産で低下している。

先行きについては、製造業では、加工組立型、生活関連型を中心に回復を見込むが、非製造業では一般建設、小売などで収益悪化が予想されている。

図表4 経常利益 BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	6	-4	-19	-9
製造業	9	-1	-23	-4
非製造業	2	-8	-14	-16
規模の小さい企業	-2	-9	-26	-9
規模の大きい企業	14	2	-11	-8

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～規模の大きい製造業を中心に上昇～

製造業では、素材型が -9→16、加工組立型が 6→17 と持ち直している。

図表5 海外需要 BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	15	2	13	9
製造業	20	2	18	11
非製造業	2	0	-2	2
規模の小さい企業	13	-7	7	7
規模の大きい企業	16	11	19	12

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が幾分緩和～

製造業で過剰感が幾分緩和されている一方、非製造業では僅かながら再び過剰超に転じている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	6	7	6	4
製造業	6	13	8	7
非製造業	6	-2	1	0
規模の小さい企業	5	5	3	1
規模の大きい企業	8	10	8	7

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で過剰感が若干強まる～

製造業は過剰感が若干強まり、非製造業では不足感が縮小している。

図表 7 雇用人員 BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	2	0	4	3
製造業	6	8	11	10
非製造業	-3	-11	-7	-7
規模の小さい企業	3	1	3	-1
規模の大きい企業	1	-1	5	9

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～厳しさが幾分緩和～

規模の小さい企業で資金繰りが厳しい状況にあるものの、厳しさが幾分緩和している。

図表 8 資金繰り BSI

	10年7～9月期	10年10～12月期	11年1～3月期	11年4～6月期 (見通し)
全体	4	-4	-1	-5
製造業	9	-1	4	-1
非製造業	-2	-9	-7	-12
規模の小さい企業	1	-12	-4	-8
規模の大きい企業	9	5	3	-2

(以上)